

日本が進む、新しい道をつくりたい。 だから私たちはここにいる。

政権与党だけが、この国を前に進めるエンジンなのだろうか。
それは違うと思う。

建設的な野党がいてこそ、おごらず、かたよらず、公平な視点を持つことができる。
今のことだけを考えるのではなく、より深く未来を見つめた議論をすることができる。

政治家だけが、この国の課題を解決することができるのだろうか。
それは違うと思う。

家族や大切な人、子どもたちの目線で捉える。

同僚や仲間の距離で考える。

老いた体や心に向き合う。

それぞれの現場に足を運び、そこにある本当の声に耳を傾ける。

だからこそ、求められている新しい答えを見出すことができる。

強い者が間違っているならば、私たちは勇気をもって正していく。

大きな者が見逃しているならば、私たちは信念をもって訴えていく。

そのとき、私たちは、私たちの答えをぶつけていこうと思う。
ただの否定や反対ではなく、議論を前進させ、
よりよい未来へ進むために。

みんなの声を集め、みんなで答えをつくっていこう。

今日も原点へ、暮らしが動いている場所へ。

声の先にこそ、答えはあるのだから。

つくりよう、 新しい答え。



国民民主党代表 玉木雄一郎



外国人労働者の劣悪な労働環境改善へ 「再検討を要求！」

国民民主党は、外国人労働者の受け入れを拡大する入管法等の改正案の問題点を厳しく指摘、改善の方向を示す「再検討要求法案」をまとめました。



外国人技能実習生からヒアリングする山井和則、津村啓介衆院議員ら

外国人労働者受け入れ拡大に 関する国民民主党の考え方

国民民主党は、活力ある日本社会の実現には、外国人労働者が必要であり、その能力が存分に発揮され、国民との協働・共生が地域社会や生活の現場においても推進されていくことが望ましいと考えています。

しかし、外国人労働者の劣悪な実態は、看過しがたい状況にあります。約29万人が働く技能実習制度では、受け入れ事業所の7割での労働法令違反や、年間7000人以上の技能実習生が失踪する異常な事態が明らかになりました。こうした点の改善も不十分なまま、政府案にあるように、今

後5年間だけでも約34万人もの多数の外国人労働者を呼び寄せてよいのでしょうか？日本人も外国人も「労働者」はまず「人」として扱われなければなりません。国民民主党は、単に「労働力不足」との理由で、このまま政府法案を拙速に成立させることは、日本社会のためにならないと考え、「再検討要求法案」を策定いたしました。政府に今後6か月以内に以下8点の重要課題の再検討を求めます。

世界経済も労働市場も急速にグローバル化が進んでおり、このような国際競争の時代だからこそ国内環境の整備は極めて重要です。

国民民主党は「つくろう、新しい答え。」のもと、日本を「世界に選ばれる国、愛される日本」とするために対案を策定しました。

国民民主党の提案「再検討要求法案」

1. 地方の人材確保への配慮
2. 客観的かつ合理的な受け入れ上限(産業別・地域別)の設定
3. 適切な外国人労働の待遇を確保するための配慮
4. 在留資格の変更に際しての一時帰国
5. 現行の各種受け入れ制度の実態把握に基づいた抜本的見直し
6. 適切な社会保障制度と教育制度のあり方
7. 家族帯同など人権的な配慮
8. 多文化共生施策の充実

つくろう、
新しい答え。

国民
民主党

こく
みん